

小塚ゴシック™

本文用から見出し用まで6つのウェイトが OpenType®として完成。
小塚明朝™の明るい表情を受けつぎながら、
ゴシック体に求められる力強さをそなえました。

The Kozuka Gothic™ typeface family is composed of six weights that cover various uses ranging from body text composition to headline compositions. This typeface family is now available in OpenType® format.

Designed as a companion to the Kozuka Mincho® typeface family, Kozuka Gothic provides a crystal-clear image while possessing the visual strength that is characteristic of a Gothic typeface.



アドビオリジナル和文書体
Adobe® Originals

アドビオリジナル和文書体 小塚ゴシック

「小塚ゴシック™」は、「小塚明朝™」につづくアドビのオリジナル和文書体ファミリーです。「小塚明朝」の開発に採用した、システムティックなデザインプロセスをゴシック書体にも適用することで、明快な視覚的訴求力と小塚明朝とのデザイン上の親近性を与えることができました。「小塚ゴシック」の書体ファミリーは、極めて細いウェイトが特徴のELから、標準的な本文や小見出しなどの用途をカバーするL、R、M、そしてより大きなサイズでの見出しに効果的なBとHまで、6つのウェイトで構成されています。「小塚ゴシック」の書体ファミリーは「小塚明朝」とおなじく、システムティックにデザインされた一貫性のある字形、優れた印字・印刷適性をもっています。「小塚明朝」の明るくスッキリとした表情はそのままに、ゴシック書体に必要とされる力強さが加わりました。

「小塚ゴシック」は、「小塚明朝」と同様、長年にわたって本文用書体の開発に携わってきた小塚昌彦（弊社顧問）が制作指揮を行い、アドビの日本語タイポグラフィグループが完成させた書体です。和文書体デザインの伝統にもとづきながら、急速に広がるデジタルフォントの利用環境に適應する書体デザインを目指して、独自のデザイン手法の開発にとりくみました。「小塚ゴシック」は「小塚明朝」と対をなし、統一感のある使いやすい書体ファミリーを構成して、和文のタイポグラフィに新しい広がりを与えます。

創意あふれる新鮮な書体デザインが タイポグラフィの未来に大きな可能性を開きます。

Kozuka Gothic,TM Adobe Originals

The Kozuka Gothic family is composed of six weights in total: EL (Extra Light), L (Light), R (Regular), and M (Medium) that cover purposes from body text to display lines for sub-headings, and the heavier B (Bold) and H (Heavy) which are effective for display lines set in larger type sizes.

Kozuka Gothic has systematically designed glyph shapes with good design consistency, and fine printability. Retaining the clear and modern feeling of Kozuka Mincho[®], Kozuka Gothic has the visual strength required for a Gothic typeface.

Masahiko Kozuka, an advisor to our design team, has been involved with many text typeface design projects during his 50-year career, supervised the Kozuka Gothic design project and lead the design team from creation to completion of this new Gothic typeface which brings modern flair to the tradition of Japanese san-serif typeface designs. Like Kozuka Mincho, Kozuka Gothic was created with Adobe's state-of-the-art digital typeface design tools and production process. Together with Kozuka Mincho, Kozuka Gothic will further broaden Japanese typographic creativity.

小塚ゴシック R 6/12 pt	タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならないという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった 20 年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたこと
小塚ゴシック L 10 Q/20 H	タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならないという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とするこ
小塚ゴシック L 11 Q/22 H	タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならないという考えです。彼女は
小塚ゴシック L 8 pt/16 pt	タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならないという考え
小塚ゴシック L 12 Q/24 H	タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウオードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウオードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中にいったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならないという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが知られています。タイポグラフィの歴史に深い知識をもつ専門家として、書籍印刷とタイポグラフィの役割と使命について自己の信念を力強く説きました。クリスタルの杯という比喩は彼女の考え方をもっともうまく表している言葉です。

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウオードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウオードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中にいったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならないという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが知られています。タイポグラフィの歴史に深い知識をもつ専門家として、書籍印刷とタイポグラフィの役割と使命について自己の信念を力強く説きました。クリスタルの杯という比喩は彼女の考え方をもっともうまく表している言葉です。

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウオードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウオードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中にいったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならないという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが知られています。タイポグラフィの歴史に深い知識をもつ専門家として、書籍印刷とタイポグラフィの役割と使命について自己の信念を力強く説きました。クリスタルの杯という比喩は彼女の考え方をもっともうまく表している言葉です。

小塚ゴシック R 12 Q/24 H タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明

小塚ゴシック L 9/18 pt タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイ

小塚ゴシック R 9/18 pt タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイ

小塚ゴシック R 14 Q/24.5 H タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じ

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならぬという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが知られています。タイポグラフィの歴史に深い知識をもつ専門家として、書籍印刷とタイポグラフィの役割と使

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならぬという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが知られています。タイポグラフィの歴史に深い知識をもつ専門家として、書

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならぬという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが知られています。タイポグラフィの歴史に深い知識をもつ専門家として、書

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならぬという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが知られてい

- 小塚ゴシック L 10/17.5 pt タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じ
- 小塚ゴシック R 10/17.5 pt タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じ
- 小塚ゴシック R 12/21 pt タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザ
- 小塚ゴシック M 12/21 pt タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのは、ビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザ

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウオードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウオードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならぬという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウオードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウオードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならぬという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを専門とすることの稀だった20年代に、名前を偽って専門誌に優れた論文を投稿して高く評価されたことが

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウオードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウオードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の杯と同じで邪魔になる。クリスタルの杯のようにタイポグラフィは無色透明でなければならぬという考えです。彼女はまた女性がタイポグラフィを

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウオードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウオードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の

小塚ゴシック B 12/21 pt

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ワードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとワードは考えていました。原作の内容と

小塚ゴシック M 14/24.5 pt

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ワードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとワード

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ワードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとワードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを

小塚ゴシック B 16/24 pt

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ワードでした。原作者の

小塚ゴシック H 24/36 pt

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ワードでした。原作者の

小塚ゴシック EL 24/36 pt

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザインは、中に入ったワインの色が見えない黄金の

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのはビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正確に印刷された文字の配列に移し変えて、読みやすい書籍を作ることがタイポグラフィの役割だとウォードは考えていました。原作の内容と無関係の派手な装飾や読みやすさを損なうような過剰なデザイン

**タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのは
ビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正**

タイポグラフィをクリスタルの杯にたとえたのは
ビアトリス・ウォードでした。原作者の言葉を正

日本の文字を求めて

小塚ゴシック EL 36 pt

日本の文字を求めて

小塚ゴシック EL 50 pt

日本の文字を求めて

小塚ゴシック H 36 pt

日本の文字を求めて

小塚ゴシック H 50 pt

小塚ゴシック EL 36pt

日本の文字を求めて

小塚ゴシック EL 50pt

日本の文字を求めて

小塚ゴシック H 36pt

日本の文字を求めて

小塚ゴシック H 50pt

日本の文字を求めて

小塚ゴシック EL	新しい時代を予感させる書体
小塚ゴシック L	新しい時代を予感させる書体
小塚ゴシック R	新しい時代を予感させる書体
小塚ゴシック M	新しい時代を予感させる書体
小塚ゴシック B	新しい時代を予感させる書体
小塚ゴシック H	新しい時代を予感させる書体

アドビの日本語OpenType®フォントには、StandardとProの2つの種類があります。この2つは、収容文字数とタイポグラフィックな機能の豊富さが異なります。OpenType Standard フォントはAdobe-Japan1-3 文字コレクションに基づく 9,354 文字を含みます。これは、機能的には従来の sfnt-CID フォントの字種に相当します。OpenType Pro フォントは Adobe-Japan1-4 文字コレクション*に基づく 15,444 文字を含んでいます。その拡張された字種と高度な文字組を支援する追加機能によって、Pro フォントは Standard の文字セットを包含するスーパーセットとなっています。

Standard と Pro の OpenType フォントは、メニュー名で容易に区別できます。フォント名の後に Std が付くものは Standard フォントで、Pro が付くものが Pro フォントです。

* <http://partners.adobe.com/asn/developer/pdfs/tn/5078.Adobe-Japan1-4.pdf>

OpenType Japanese fonts are currently available in two flavors : Standard and Pro. These two flavors differ in their character collections, and in the richness of their advanced typographic features. OpenType Japanese Standard fonts are based on the Adobe-Japan1-3 character collection, which enumerates up to 9,354 glyphs. These Standard fonts are equivalent to Adobe's sfnt-CID fonts in terms of glyphs. OpenType Japanese Pro fonts are based on the Adobe-Japan1-4 character collection,* which enumerates up to 15,444 glyphs. Pro fonts are supersets of their Standard equivalents in terms of their glyph collection and advanced typographic features. The sheer number of glyphs in Pro fonts allow additional advanced typographic features to be included.

OpenType Japanese Standard and Pro fonts are easily distinguished through their menu names. The use of 'Std' after a font name in an application font menu indicates a Standard font, and the use of 'Pro' indicates a Pro font.

英文テキストには Adobe Myriad Pro 書体を用いました。
和文の組見本は、Adobe InDesign® 日本語版を用いて組版し、特別な字間調整をせず、ベタで組んでいます。

The English text is set in Adobe Myriad Pro.
The Japanese specimen text is composed with Adobe InDesign™ Japanese Edition,
and set solid without special spacing adjustments.

* <http://partners.adobe.com/asn/developer/pdfs/tn/5078.Adobe-Japan1-4.pdf>

Adobe, Adobe ロゴ, Adobe Originals ロゴ, 小塚明朝, 小塚ゴシック, Minion, Myriad および InDesign は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。OpenType は Microsoft Corporation の米国および/またはその他の国における登録商標です。

© 2001 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Adobe, the Adobe logo, the Adobe Originals logo, Kozuka Mincho, Kozuka Gothic, Minion, Myriad and InDesign are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. OpenType is a registered trademark of Microsoft Corporation in the U.S. and/or other countries.



アドビ システムズ 株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
www.adobe.co.jp

Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue
San Jose, California 95110-2704 USA
www.adobe.com